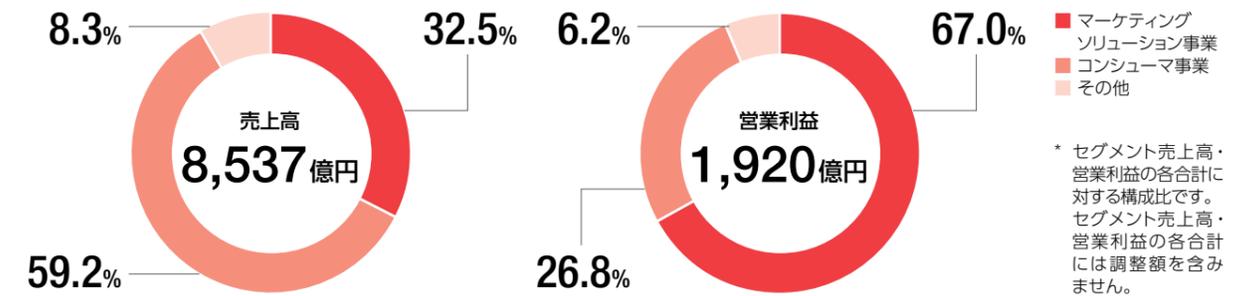


Business Overview

当社グループのビジネスセグメントはマーケティングソリューション事業、コンシューマ事業、報告セグメントに属していないその他の3つの事業区分に分けられます。それぞれが単独の事業としてビジネスを推進するだけでなく、事業間のシナジーを活かして全体としての収益最大化に取り組んでいます。今後も高成長が期待される、インターネット広告、eコマース、フィンテック市場において、引き続き日本のリーディングカンパニーとしてのプレゼンスを高めていきます。

セグメント別構成比 (2016年度)



事業内容

主要なサービス

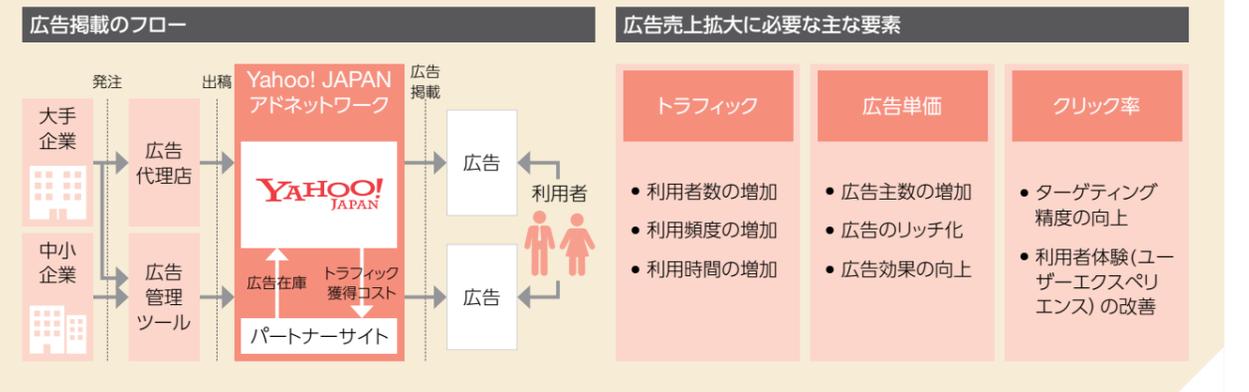
マーケティングソリューション事業

P19

マーケティングソリューション事業は、日常に欠かせない多様なメディアサービスを提供することで多くの利用者を集め、広告により収益を上げています。PC時代に圧倒的なポジションを築いてきた当社グループですが、2016年度は広告売上高においてもスマートフォン経由が過半となり、スマートフォンシフトが順調に進んでいることを証明することができました。今後はメディアサービスでの顧客体験向上を実現し、蓄積された利用者の行動データを活用した広告プロダクトの機能改善によるさらなる収益向上を目指します。

- 「Yahoo! JAPAN」トップページ、「Yahoo! ニュース」などのメディア関連サービス
- 検索連動型広告、ディスプレイ広告などの広告関連サービス

主要な事業内容の収益構造



コンシューマ事業

P21

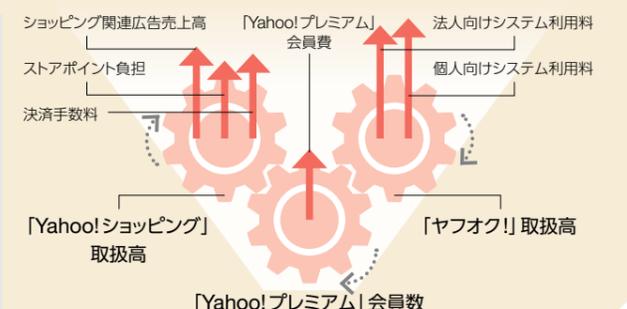
コンシューマ事業は、eコマース関連サービスおよび会員向けサービスなどを提供しています。アスクル(株)・(株)一休などの連結子会社の影響もあり、当社の売上高構成比で最も大きい割合を占めています。主要サービスの「Yahoo!ショッピング」では、2013年10月より月額ストア出店料などを撤廃し、広告により収益を上げるeコマース新戦略を導入しました。また、2016年度に「Yahoo!プレミアム」など特定の会員基盤に向けた特典を強化した結果、当該年度における当社のeコマース国内流通総額は約1.8兆円を超え、引き続き高成長を続けています。日本のeコマース市場における潜在的な成長余地は膨大であるとの考えのもと、国内ネットオークション市場で圧倒的シェアを誇る「ヤフオク!」とあわせてeコマース国内流通総額No.1を目指します。

- 「ヤフオク!」「Yahoo!ショッピング」アスクル(株)などのコマース関連サービス
- 「Yahoo!プレミアム」「Yahoo! BB」などの会員向けサービス
- 「Yahoo!不動産」などの情報掲載サービス

「Yahoo!ショッピング」「ヤフオク!」のビジネスフロー



コンシューマ事業全体での成長戦略



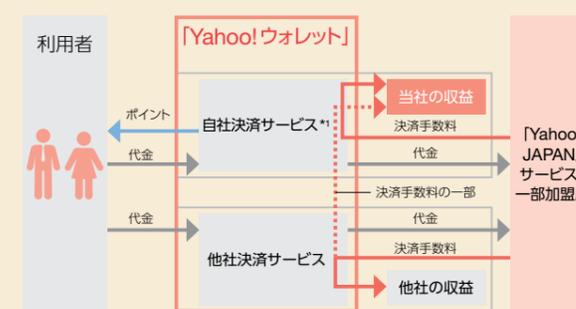
その他

P23

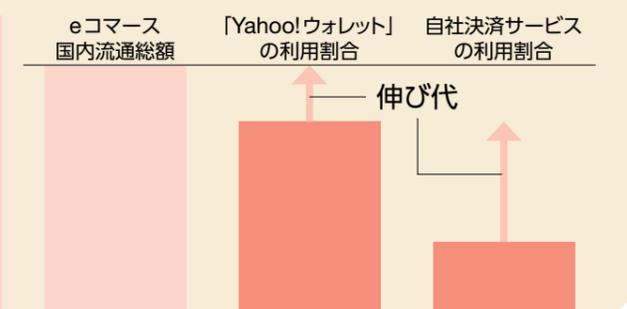
その他は、決済金融関連サービス、クラウド関連サービス等を含んでいます。マーケティングソリューション事業、コンシューマ事業に次ぐ第三の収益の柱として構築すべく、決済金融関連サービスにおいては、クレジットカード関連事業、電子マネー関連事業、FX関連事業などを提供しています。特にクレジットカード関連事業はeコマース事業とのシナジーが高く、国内流通総額の成長に連動し、引き続き高い成長が期待される領域です。今後も会員獲得と利用促進を通じ、事業の拡大に努めます。

- クレジットカード、電子マネー、FXなどの決済金融関連サービス
- クラウド関連サービス

決済金融事業の収益構造



決済金融事業の収益拡大に向けた方針



*1 「Yahoo! JAPANカード」、ジャパンネット銀行、「Yahoo!マネー」